

内容項目	C 規則の尊重	主題名	みんなの使う物
内容項目指導の観点	約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること。		

①授業者の価値観 ※ねらいとする道徳的価値（道徳の内容）について、学習指導要領に基づき明確な考えをもつ。

授業者が考える

C 規則の尊重

とは？※この1年間でこの学級の子どもたちに育てたいこと

他人に迷惑を掛けず、すべての人が生活しやすくなるよう約束やきまりを守ること。

②児童観 ※授業者の明確な価値観に基づくこれまでの指導と子どもの学び、よさや課題を明確にし、本時の方向性を示す。

各教科等、さまざまな場面でこの視点で C 規則の尊重 に関わる指導をする

各教科で指導したこと	社会科「学校のまわり」の学習では、歩道は多くの人が歩くところであり、他の人のことをよく考え、きまりを守って行動することの大切さについて指導した。
------------	--

その結果、児童は

よさ	自分が社会の一員であることを理解し、みんなで使う物について大切にしようとしている。
課題	みんなで使う物を大切にしようとする気持ちはもっているが、自分の事として捉えたときに進んでやくそくやきまりを守ろうとするか。

実態から求められること(ねらい)＝ここが授業の中心 育てたいのは、判断力、心情、**意欲**、態度

やくそくやきまりの大切さを捉え直し、人に迷惑を掛けないよう進んで行動しようとする意欲を高められるようにしたい。

③教材観 ※授業者の明確な価値観、本時の方向性を基に、教材の活用の仕方を明らかに、教材は活用するもの

本時で扱う教材	黄色いかさ
実態から教材のどこを中心に考えさせるのか。	児童を黄色い傘を借りて返さなかった大助に自我関与させて、約束やきまりを守ることの大切さを考えさせたい。 実態からどのように教材を活用するか。 本時は、 <b>補充</b> <b>深化</b> <b>統合</b> をねらう。

④教材分析表 ※中心発問から前後の発問を考える

本時の学習課題	約束やきまりを守ることの大切さとは何か。
---------	----------------------

価値理解：人間としてよりよく生きる上で大切なことであることを理解すること。 人間理解：道徳的価値は大切であってもなかなか実現することができない人間の弱さなども理解すること。

他者理解：道徳的価値を実現したり、実現できなかったりする場合の感じ方、考え方は一つではない、多様であるということを前提として理解する。

中心発問	意図(他、人) 価値理解)
おばあさんから、黄色い傘が1本もないということを聞いたとき、大助はどんなことを思ったでしょう。	おばあさんに迷惑を掛けてしまった大助に自我関与させ、約束やきまりをまもることの大切さに気付かせる。

発問	意図(他、人) 価値理解)
学校の帰りに、駅の黄色い傘を借りて家に帰った大助は、どんなことを思ったでしょう。	黄色い傘を借りたときの大助の気持ちを考えさせる。

発問	意図(他、人) 価値理解)
お母さんに傘を返すように注意された後、大助はどんなことを思っていましたか。	黄色い傘を返さないといけないと気付いていながら返せない時の気持ちを自分との関わりで考えさせる。

指導方法は **自我関与中心** 問題解決的 体験的

指導の工夫 構造的な板書